

CO2削減に係る年度ごとの取組状況と今後の取組について

1 CO2削減に係る年度ごとの取組状況（過去3年）

(1) 市バス事業

施 策	取 組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
環境にやさしいバスの導入推進	環境にやさしい低公害車や低燃費車両の導入を推進します。	燃費性能を改善した車両への更新 58両 (アイドリング・ストップバス導入率:100%達成)	燃費性能を改善した車両への更新 42両 (同左導入率:100%継続)	燃費性能を改善した車両への更新 41両 (同左導入率:100%継続)
	環境にやさしい次世代バスの実用化について、今後も注視・研究します。	注視・研究	同左	同左
エコドライブの実施、アイドリング・ストップの徹底	バスの走行において、燃料消費量の少ない運転方法であるエコドライブやアイドリング・ストップの徹底を実践します。	アイドリング・ストップやふんわりアクセルの実践を運転士に指導	営業所間で燃費向上を競うエコドライブコンテスト/2回開催	同左
バイオディーゼル燃料(BDF)使用	軽油とバイオディーゼル5%混合燃料(B5)の使用を継続します。	横大路営業所 112両	横大路営業所 114両	同左

(2) 地下鉄事業

施策	取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
車両の省エネルギー化	新型車両等への効率の良い機器の搭載により、省エネルギー化の取組を実施します。	—	新型車両 1編成導入	新型車両 2編成導入
駅舎等の施設の省エネルギー化	駅舎やトンネル等において、照明設備や空調設備の更新時に省エネルギー化等の取組を実施します。	照明設備のLED化 ○駅舎 京都市役所前駅 ○トンネル 北大路駅～丸太町駅	照明設備のLED化 ○駅舎 柳辻駅、二条城前駅 ○トンネル 丸太町駅～京都駅	照明設備のLED化 ○駅舎 松ヶ崎駅、三条京阪駅、二条駅 ○トンネル 京都駅～竹田駅
		空調設備の更新 料金センター、醍醐高速鉄道事務所	—	空調設備の更新 松ヶ崎駅、醍醐駅、小野駅

※新型車両は更新前車両と比べ、約30%の省エネ効果があります。

2 今後の取組

市バス事業では、低公害車・低燃費車の導入、アイドリング・ストップの徹底、バイオディーゼル燃料の使用等を継続するとともに、大阪・関西万博の開催に合わせて、環境にやさしい次世代バスとして、新たに電気バスの導入を検討しており、費用や運用面の課題抽出など調査・検討を開始いたします。

地下鉄事業では、引き続き、烏丸線新型車両の導入、照明設備のLED化、空調設備の更新等による電力使用量の削減に努めてまいります。

今後も、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの達成に向け、CO2排出量の削減に資する取組を展開してまいります。